

# 県内経済とくらしむき

## 長崎県県民生活部統計課

### 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 8月

平成28年8月1日の推計人口 1,366,148人  
世帯数 573,199世帯

参考：H22.10.1 現在国勢調査総人口：1,426,779人、  
世帯数：558,660世帯

#### 1 推計人口

平成28年8月1日現在の推計人口は、1,366,148人で、前月(1,366,768)に比べ620人の減少となった。

市部では大村市(109)、西海市(6)、松浦市(4)の3市で増加し、長崎市(323)、佐世保市(87)、対馬市(55)、壱岐市(36)、南島原市(34)、雲仙市(33)、五島市(33)、平戸市(26)、諫早市(17)、島原市(14)の10市で減少した。

郡部においては、佐々町(24)、川棚町(19)、時津町(4)の3町で増加し、長与町(67)、新上五島町(28)、東彼杵町(13)、波佐見町(12)、小値賀町(8)の5町で減少した。

自然動態は、出生数902人、死亡数1,260人で358人の減少、社会動態は、転入者数3,316人(県内転入を含む)、転出者数3,578人(県内転出を含む)で、262人の減少となった。

#### 2 世帯数

平成28年8月1日現在の世帯数は、573,199世帯で前月(573,418)に比べ219世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H22国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

本月分の推計人口は平成27年10月1日現在の国勢調査人口等基本集計が公表されるまでの暫定値である。

### 【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…6月

1人あたり現金給与総額 441,802円  
対前月比 76.4%増加  
対前年同月比 1.6%増加

#### 1 賃金

6月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額441,802円で、前月に比べ76.4%増加し、前年同月に比べ1.6%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は246,412円で、前月に比べ0.4%増加し、前年同月に比べ0.7%減少した。

特別給与額は195,390円で、前年同月に比べ、8,894円増加した。

#### 2 労働時間

6月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は161.6時間で、前月に比べ5.3%増加し、前年同月に比べ0.6%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は150.0時間で前月に比べ5.7%増加し、前年同月と比べ0.1%増加した。

所定外労働時間数は11.6時間で、前月と同水準で、前年同月に比べ7.9%減少した。

#### 3 雇用

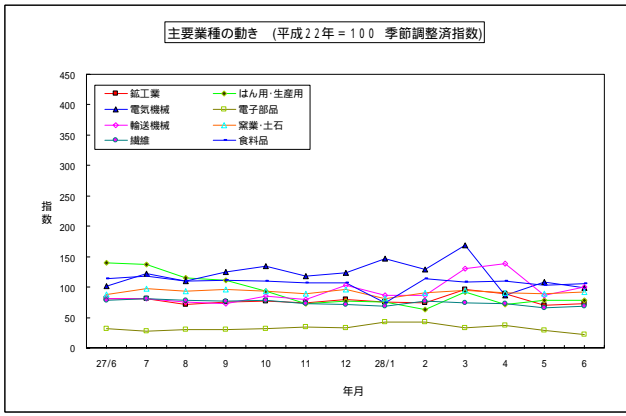
6月の常用労働者数は214,772人で、前月に比べ0.3%増加し、前年同月と同水準であった。

### 【鉱工業生産指数】……………6月

平成28年6月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎県	72.5	4.5	75.6	10.0
九州	101.9	5.7	104.9	2.7
全国	96.9	2.3	100.7	1.5



平成28年6月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が72.5で前月比は4.5%の増、原指数は75.6で、対前年同月比は10.0%の減となった。

業種別にみると、輸送機械工業、繊維工業、窯業・土石製品工業、食料品工業、はん用・生産用機械工業など9業種が上昇し、電子部品・デバイス工業、電気機械工業など4業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
輸送機械工業	16.0	24.4	修繕船
繊維工業	4.4	9.5	織物製外衣
窯業・土石製品工業	2.9	3.1	生コンクリート
食料品工業	1.9	6.8	缶詰類
はん用・生産用機械工業	0.6	41.0	タービン

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	22.8	28.2	半導体集積回路
電気機械工業	8.6	6.8	交流発動機

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 7月

総合指数(H27=100)	100.0
対前月比 (%)	0.1
対前年同月比 (%)	0.1

平成28年7月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、100.0である。

前月比は、0.1%の下落で、上昇要因は「食料」の+0.1%、「交通・通信」の+0.2%であり、下落要因は、「被服及び履物」の-2.9%、「光熱・水道」の-0.6%である。

前年同月比は、平成28年4月は0.0%、5月は0.4%、6月は0.0%と推移した後、7月は0.1%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は100.0であり、前月比は0.2%の下落、前年同月比は0.0%の同水準であった。

(前月との比較)

上昇した費目

食料	0.1%
交通・通信	0.2%

下落した費目

光熱・水道	0.6%
家具・家事用品	0.2%
被服及び履物	2.9%
保健医療	0.1%
教養娯楽	0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 7月

消費支出(一世帯当たり) 408,365円  
前月比 157,030円増(62.5%増)

平成28年7月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は408,365円で、前月比62.5%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は87.2%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前月比 (%)
食料	77,836	10.1
住居	17,237	10.7
光熱・水道	17,376	4.5
交通・通信	114,214	223.0
教養娯楽	30,359	77.0

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。